キャラクター名
Elizabeth March

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ モルフェウス	ワークス	FHエージェントD	カヴァー	塗装職人
オプショナル		年齢	21	性別	女性
覚醒	感染	衝動	加虐	初期侵食率	32 %
出自	資産家	経験	喪失	邂逅	上司

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3		0			3
感覚	3		0			3
精神	1		0			1
社会	1	1	0			2

HP	27
行動値	0
(非装備時)	0
戦闘移動	5
全力移動	10

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	9	
運転：多脚戦車	18		芸術：			知識：			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
スチールギガント	運転	3r+18	0	20		武器使用不可
コンボ(4+6+7)	運転	11r+18	0	20		
コンボ(5+7)	運転	6r+18				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
FHバトルアーマー	0	15	-5	済	（※1） efDm-5
スチールギガント	0	20	0	済	

合計装甲：	35	合計回避：	-5

所持品	
コーリングシステム	
コネ：要人への貸し	
カジュアル	
制服	
携帯電話	
携帯電話	
アクセサリー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
No.54 装着者	P	N		
お立ち台	P 信頼	N 不安		
「Magic Painters」	P 好意	N 劣等感		
ソラヤ=ボネール	P 憧憬	N 隔意		
"ソラ"	P 大好き	N 悔悟		
アレクセイ・ジェーリヴォ	P 友情	N 脅威		
朱城カズマ	P 懐旧と感謝を	N 無関心		

最大財産P:	22	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
黄金錬成	3	-	pv	-	-	-	-	
効果： 財産+[LV*10] 基礎侵蝕+								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	MA	-	-	-	-	
効果： C値-[LV]（下限7）								
リフレックス：ブラックドック	2	2	rA	-	-	-	-	
効果： C値-[LV]（下限7）								
巨匠の記憶	5	2	MA	-	-	-	-	
効果： +[LV]D（運転、芸術、知識、情報）								
鋼の馬	3	2	MA/rA	-	-	-	-	
効果： 〈運転〉+[LV]D								
砂の結界	1	2	auto	至近	自身	自動	-	
効果： 行動消費せずカバー								
エースドライバー	1	1	rA	至近	自身	対決	-	
効果： 〈運転〉でドッジ								
テクスチャーチェンジ	1	-	-	至近	自身	自動	-	
効果： 〈RC〉								
壁抜け	1	-	-	至近	自身	自動	-	
効果： 〈知覚〉								
成分分析	1	-	-	至近	自身	自動	-	
効果： 〈RC〉								
文書偽造	1	-	-	至近	自身	自動	-	
効果： 〈RC〉								
電波障害	1	-	-	視界	シーン	自動	-	
効果： 〈RC〉								
効果：								

「ハロー！ エリザベス・マーチよ。リズって呼ばれるの。よろしくね」
「さっ、口より手を動かしましょう」
「立つのは苦手だけど、好きなの。だって太陽が近くなるもの」

ベージュ色の癖のない長髪をハーフアップでまとめ、フェミニンな服装に身を包み、無骨で質素な車椅子に腰を下ろした、20代の若き女性。
それがElizabeth Marchだ。

アメリカ合衆国カルフォルニア州サンフランシスコ在住。
全米に支店を持つ大型工務店「Magic Painters」のサンフランシスコ支店に務める塗装職人。
愛称は"Liz"。

Lizがレネゲイドに発症してからもう6年も経つ。
それは、彼女と車椅子の生活が6年目に突入したことも示していた。

感染により彼女がノンキャリアからオーヴァードへと覚醒した際、身体の一部が肉体の変質に耐えられなかった。
結果として、Lizの下半身の遅筋（赤筋）は著しく機能を低下させ、彼女は超常の力の代償として、長時間立ち続けることが叶わなくなった。
その後、UGN及びFHからも声がかるも、何を思ったのか、彼女は最終的にFHに身を置くことを選んだ。

潜在的能力は高く、金属にジュール熱を走らせ、物質構築により自在に操作する能力に長けている。
彼女が腰掛ける車椅子、通称「お立ち台」だが、タイヤ以外のほぼ全ての部品が特殊な金属で作られたFH特注の一品。
ナマモノのように金属を唸らせるソレは、攻防一体の立派な兵器であり、その構築速度は音速を超えるとまで謳われている。
完全に戦闘隊形になった時は、蜘蛛とカマキリと足して割ったようなバケモノになるらしい。